

北横岳 & 縞枯山山行報告

【山行日】2024年 2月 18日(日) 曇り

【集 合】岩舟支所 P AM 5:30

【費 用】マイカー1台 : 6,000円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:廣瀬

飯野、鈴木ミ、福島、藤原ト

【コースタイム】岩舟支所 P5:30=RW 山麓駅

P8:10/8:50+++RW 山頂駅 9:00/9:20~北横岳ヒュ

ツテ 10:00/10:15~北横岳南峰 10:20/10:25~

北峰 10:30/10:45~北横岳ヒュツテ 10:55/11:10~

雨池峠 11:50/12:25~縞枯山 12:50~展望台

13:00/13:15~五辻 13:40~展望所 14:00/14:10~RW 山頂駅 14:25/14:40+++RW 山麓駅 14:50/15:10

=道の駅「ヘルシーテラス佐久南」16:05/16:20=岩舟支所 P18:05

雪山入門コースの北横岳から縞枯山を計画し、参加者6名で岩舟支所を5:30に出発した。



北関東道から上信越道を進み、中部横断自動車道の佐久南ICで降りる。国道142号線から県道40号線を進み、北八ヶ岳ロープウェイの駐車場に着く。広い駐車場はまだ車が少なく、RW乗場の直ぐ近くに車を止められた。朝の天気は最高で、青空に赤岳や阿弥陀岳が聳え、これからの雪山登山に期待が膨らむ。出発の準備を整え、トイレを済ませたらチケット売り場の前に並ぶ。予定より早く券売が始まり、ゴンドラに乗って山頂駅に着く。山頂駅の外に出るとガスが掛かり

展望がまったく得られず、期待が大きかっただけに落胆が大きかった。それでも気を取り直し、アイゼンを付けて北横岳へ向かって出発する。坪庭遊歩道を通して北横岳に向かい、積雪量は少ないが雪が締まっていて歩き易い。途中、縞枯山への分岐を左に進み、一旦下ってから右に巻くように登って行く。コメツガやシラビソの樹林帯の道を登って行き、雪山の雰囲気は漂い皆さん満足そうに登って行く。九十九折れの道から段々と急登になり、三ツ岩岳への道を右に分けると、シラビソの林に囲まれた北横岳ヒュツテに着く。休憩して疲れた足を休め、ヒュツテの前で記念写真を撮ったら北横岳へ向かう。ここからはさらに急坂になるが、ほんの少し頑張ると北横岳南峰に着く。山頂は平らで360度の大展望が得られるが、あいにくガスが掛かり展望が得られない。そのまま北峰まで移動するが、登山道は樹氷に囲まれ雪山の雰囲気が感じられる。



北峰山頂にも樹氷やエビのシッコを纏った樹木が見られ、南峰より標高が7.5mほど高い。

山頂標識や樹氷の前で記念写真を撮り、青空が出るのを待つことにする。雲の間うっすらと太陽



が見え、時折青空がポツカリと見えるので期待が膨らむ。ところが10分待っても晴れ間は出ないので、あきらめて下山開始する。北横岳ヒュッテまで下り、女性はトイレを済ませる。往路を下って坪庭まで行き、分岐を左に進んで雨池峠に向かう。坪庭を下るとT字路に出て、雨池峠へは左に進む。良く踏まれたトレースを緩やかに下って行くと、広々とした八丁平に三角屋根の縞枯山荘が建つ。山荘の前を通り、ほんの少し登ると雨池峠に着き、ここでランチタイムとする。風を避けて

三ツ岩岳への道をほんの少し登り、雪を踏み固めて腰を下ろしお湯を沸かす。「雪の中でカップ麺を食べて見たかった」とラーメンをすすりながら美味しそうに食べていた。我輩は定番の赤いきつねのミニをいただくが、雪の中で食べるカップ麺は格別に美味しく感じる。ランチが済んだら縞枯山に向

かって出発し、反対側の斜面に取り付き急坂を登って行く。シラビソの樹林帯を登って行くが、段々傾斜がきつくなり足はきついし息も上がってくる。思わず中間地点で休憩をとり、疲れた足を休めて呼吸を整える。ここからはさらに傾斜がきつくなるが、頑張って登り切り縞枯山山頂に着く。どこが山頂なのかはっきりしない山頂だが、山頂標識があるのでここなのかと納得する。青空を期待したがガスが掛かかっていた。このまま平坦な山稜を歩



き、左折すると展望台に着く。ここからの展望は素晴らしいが、あいにくガスが掛かりあまり展望は得られない。それでも時折ガスが晴れ、北の浅間山や近くのニューや八ヶ岳の山々が見渡せる。下界は晴れているようで、小海町の市街地が良く見えている。ここでもしばらく晴れるのを待つが、う



っすら太陽が顔を出すと消えを繰り返すので、あきらめて下山する。稜線まで戻り少し先から急降下が始まり、鞍部から右に折れて五辻に向かって進む。緩やかに下って行くと五辻に出て、小休止して足を休めたらRW山頂駅に向かって出発する。緩やかな登りが延々と続き、疲れた足には堪える道だが皆さん黙々と登っていた。途中にある展望台で休憩を取り、展望を楽しみながらケーキや菓子をいただきおやつタイム。ここから10分ほど歩くとRW山頂駅に着き、アイゼンを外してRW乗場に行

行く。RW乗場に行くと5分後に乗れ、ゆったりしたゴンドラから景色を楽しみながら山麓駅に着く。靴を履き替え荷物を積んだら出発し、往路を戻って岩舟支所に向かう。期待した大パノラマは見られず残念だったが、本格的な雪山に登ることが出来皆さん大満足の山行となった。